

「森の都」から全国へ。

緑のメッセージを送ります。



くまもとは、昔から豊かな緑の名所でした。

▼「森の都」熊本
 文豪、夏目漱石が、熊本を「森の都」と称したのは、明治二十九年のことでした。第五高等学校教授として初めて熊本を訪れた漱石は、京町台から眼下に広がる町並みを見て、そう感じたのでしょうか。
 あれから九十年。市街地が拡大、過密化し、産業の振興がめざましいなか、あらためて緑の重要性が認識されてきています。

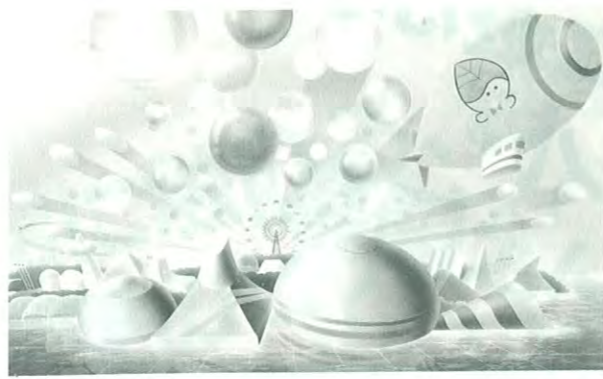
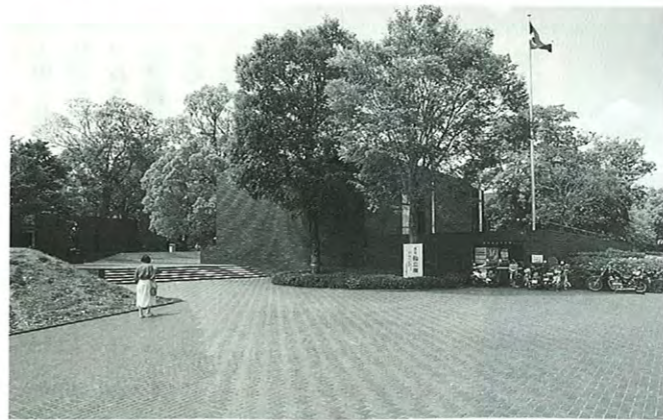
熊本・江津湖畔から「緑」の発信
 クマモトグリーンピック'86。
 日本中へ届くように――

みんなで参加しましょう。
 そして、みんなで語り合ひましょう。
 緑息づく郷土を。
 豊かなわたしたちの未来を。

潤いと安らぎを与えてくれる緑。
 街の中にこそ必要です。

▼大切な緑の環境づくり
 全県土の六十パーセント以上を占める森林面積。確かに熊本は、まだまだ緑に恵まれています。都市部は僅か十二・三パーセントにすぎませんが、ここに全人口の七割、二百二十万人が住んでいます。こうした、人がたくさん住む街並の緑は、決して多いとはいえません。
 緑は、私たちの暮らしに潤いと安らぎを与えてくれます。人が住む街

並のなかにこそ取り入れることが必要なのです。県でも、昨年「緑の三増計画」をスタートさせ、緑の環境づくりを展開しています。
 緑あふれる、住みやすい素晴らしい郷土づくり。熊本に住む私たちみんなの課題ではないでしょうか。



みんなで考えましょう。
 緑と水の大切さ。

▼緑と水の博覧会
 ・クマモトグリーンピック'86
 ・クマモトグリーンピック'86の正式な名称は、第四回全国都市緑化くまもとフェア。このフェアの最大の目的は、熊本に住む一人ひとりに、緑と水の大切さを知ってもらうことです。そして、県下一円にすばらしい街づくりが広がるための発信の場とすることです。
 いよいよ八月一日から十月十二日までの七十三日間、水前寺江津湖公園で華やかに開催されます。
 建設省の提唱によるこの催しは、昭和五十八年の大阪を第一回として、東京、神戸と大都市で開催されてきました。そして今回、地方都市としては、初めて熊本で開催されることで、全国の注目を集めています。



全国の注目を集める
 ビッグイベントを成功させましょう。

▼地方イベントの時代

天皇陛下をお迎えして開催された第三十六回全国植樹祭。昨年は、このほか文化デザイン会議、地方で初の文化庁芸術祭等々、文字どおり「地方イベントの時代」を先駆ける活動が展開されました。活力に満ちた火の国熊本。全国に強い印象を与えています。

今回の「クマモトグリーンピック'86」には、県外からも、多くのお客様がお見えになることでしょう。



今年、九州を代表するビッグイベント「クマモトグリーンピック'86」。県民の皆様のご参加をお願いします。

クマモトグリーンピック'86

と き 8月1日(金)→10月12日(日)
 と ころ 熊本市水前寺江津湖公園

